



堀船中だより

情熱・活力・変革の年に

校長 鈴木 格也

令和 8 年、新年を迎えました。本年もよろしくお願い致します。

今年の干支は、丙午(ひのえうま)の年にあたり、情熱、活力、変革をもたらす年と言われています。特に、午年の中でも丙午の年は、60 年に 1 度回ってくるもので、より一層の大きな変化がある年と言われています。そもそも干支、12支(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)は、中国から日本に伝来し、古くから年月や時刻、方位、角度を表すのに用いられていました。現代の日常生活の中では、あまりそのような利用がなくなりましたが、干支の文化は今も根付いています。その丙午にならって、一人一人の生徒が、生活行動面や学習面、活動面での新年の目標をしっかりと立て、その目標実現に向けて、情熱と活力を発揮させてほしいです。また、人は得意、不得意とした事柄がありますが、これからまだまだ伸びる期待のある生徒ですから、好き嫌いや苦手意識で物事を決めつけることなく、自分自身に変革をもたらせ、新しいことにもチャレンジして、新しい自分づくりに挑戦する年にしてほしいです。

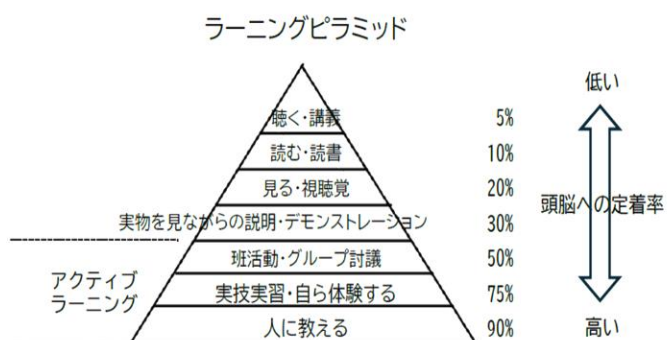
2 学期後半のこの 3 か月は、あっという間に過ぎ去っていきます。これまで以上に、落ち着いた学校生活を過ごし、1、2 年生は次の学年に向けた準備を進め、どっしりと安定した土台をつくるのが肝要です。そして 3 年生は、目の前の進路を決定させ、4 月からの新生活に向けた準備を進めてください。そこで、土台づくりに必要な授業の取り組み方について、昨年 9 月初めの全校集会で話を受けた堀船中学校の授業スタイルを再確認し、定着させた取組を期待します。

「堀中授業スタイル」

○今日の目標 “〇〇ができるようになる。”

- ・自分の力で考える
- ・みんなで学び合う
- ・自分の考えを表現する

○振り返り “〇〇ができるようになった。”



米国立訓練研究所の「ラーニングピラミッド」で示された通り、学習方法によって、学習内容の定着率が異なります。ピラミッドの下に向かうほど定着率が高いことが分かります。そこで、定着率の向上の鍵は、能動的に学ぶことです。「堀中授業スタイル」にもあるように、何ができるようになるのか、何ができるようになったのかを意識した活動が効果的な学習となります。授業を進める先生も「堀中授業スタイル」を意識して授業展開することを心がけています。授業改善推進プランも併せてご覧ください。(学校 HP 公開)



◆ 平塚神社の落ち葉掃きボランティア活動 ◆

12月26日（金）に毎年恒例となっている平塚神社で落ち葉掃きボランティア活動を行いました。当日は67名の生徒が参加しました。3年生、2年生にとってはこれが3度目、2度目となる生徒もあり、これまでのボランティア活動で得た経験を活かし、模範となる姿で取り組んでいました。「自分たちの手で綺麗にした。」という実感もあり、作業後の爽やかな笑顔が印象的でした。地域の方々と一緒に作業をすることで、地域貢献への意識を高めるとともに、協力の大切さを改めて学ぶことができたように感じます。今後も、生徒たちが社会の一員としての自覚を深める機会を大切にしていきます。

